

平成28年度 事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 東京養育家庭の会

1、総括

児童福祉法の改正があり家庭養護がクローズアップされ、都にあっては児童福祉審議会で社会的養護とりわけ家庭養護のあり方について審議が深まりました。内容の詳細は割愛しますが、近年になく家庭養護の大切さが話題になりました。里親委託率3割に近づきつつある自治体も見え始め、全体として進展が見えており、東京も登録数と委託数も緩やかながらも進展を見せていました。

しかし、足元を見ると未委託里親は減らず、子育ての悩み解消は道遠しの感がありました。そんな中、黙々と子育てに当たっている里親が今を支えている現実を直視していきたいと思えます。

2、28年度の柱に掲げた活動について

① 養育家庭と子供達への支援を充実しました。

i 里親活動の原点を支部活動と位置づけて取り組みました。サロンなどの場を通じて里親間の意見交換の中に一筋の光を見出した里親も多かった。

ii 児福審のテーマである里親支援のあり方について、支部訪問によるヒアリング、理事等懇談会、支部長会等のさまざまな場を通じて検討を進めました。支援のあり方について基本に立ち返って考える場を設けることができました。

② 子供の年齢に合わせた支援、子供支援特別会計の活用

i 子供の年齢に応じた集いを持つことができました。

ii 会場を東京にして東日本のユースの集いを実施できました。

③ 研修事業の充実

初期の目的を達成できた。認定前・更新時研修での里親グループ討議は昨年と比較して参加も増え、東社協児童部会等との連携に負うところが大きかった。

④ 里親会の運営

i 児相をはじめ支援関係機関との連携を維持できました。

ii 縁組里親などとの連携を指向したが、出会いの場が少なく次年度以降も課題として引き継いでいきます。

iii 事務局の体制強化については、参加できる役員に限りが見られ課題を残しました。

iv 特定課題へのチーム編成は、児福審対応に向けて会全体で取り組んだ。東社協など外部機関の交流には、理事が手分けして参加し里親の立場から発信できました。

v 児相の23区設置の話題が新聞報道されたため、情報収集に当たりました。

3、28年度要望活動などについて

i 重要な案件について関係者との意見交換の場を持つことができました。

ii 高卒者の学費／生活費の問題に対して国レベルで制度化を達成できました。

iii 乳幼児委託の増加、通院費の支給がされることとなりました。

iv ユース事業に29年度日本財団から助成金を受けることができました。

事業名	内 容	実 施 時 日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
(A) 養育家庭に対する支援事業	①全体会交流会事業 東京都と共催で養育家庭の交流を開催し、子供達同士の交流	10月23日	井の頭公園	20名	全養育家庭 大人 94名 子供 65名	65
	②里親交流事業 前年度に続き、社会へ巣立たせた里親の集いを開催	3月5日	中野 サンプラザ	4名	里親 6名	41
	③里親促進事業 支部活動を助成・支援	6月16日	各支部	2名	各支部	316
	④つなぎ資金の運営 里子の進学・就職に必要な資金の一時的立替	随時	養育家庭 連携室	1名	0家庭	特別会計
	⑤東社協との連携（児童養護施設） 評議委員会、里親制度支援委員会、友愛互助会、自立スタート支援委員会に参加。児童養護施設・乳児院との交流を進めた。	随時	随時	4名	東京都の 全養育家庭	20
(B) 養育家庭で育つ子供への支援事業	①自立支援事業（中高生） ・自立・進学の準備講座を開催 ・18歳後の生活の確保に向けて関係機関と調整。	8月19日	新宿文化センター	1名	養育家庭で育つ高校生 6名	3
	②子供支援事業（幼児・学童期） ・幼少期事業（山キャンプ） ・学童期事業（山キャンプ）	8月21日 ～23日	桐花園 キャンプ場	7名	台風の為中止	62
	③招待行事 a. サマーキャンプ・デイキャンプの実施。(アサヒKIDSプロジェクトと共催)	5月22日	デイ・キャンプ 葛西臨海公園	2名	小・中学生 4名	10
		11月19日	デイ・キャンプ 埼玉県 草加市	2名	小学生 4名	
		8月6・7日	サマーキャンプ 葉山	2名	小学生 10名	
b. その他 スポーツ観戦・観劇・音楽鑑賞・スポーツ体験の実施（FC東京、オンワード樫山、各種団体からの招待等）	随時	各種団体の招待により異なる	2名	養育家庭で育つ里親子 約700名		
④ユース事業の支援 ・夏休み交流事業 ・里子体験談発表・交流会	8月 20・21日 10月2日	都内	2名	里子・里親家庭を巣立った子供	特別会計	

(C) 養育家庭及び養育家庭制度に関する 情報収集及び情報提供事業	①第62回・関東甲信越静里親研究協議会 ・大会に参加 ・大会の代表者会議	11月12日 7月2日 11月12日 1月15日	水戸市	2名 2名	当会の養育家庭 大人 12名 子供 1名	57
	②第61回 全国里親大会 ・大会に参加	11月12～ 13日	水戸市	3名		78
	③関係機関との交流 (全国児童養護施設協議会・東社協児童部会・等)	7月4日 11月16日 1月10日	都内	3名 1名	里親8名 ユース6名	93
(D) 養育家庭に関する普及広報事業	①会報の発行 会独自の会報を発行	7月 12月 3月	都内	3名	会員及び 関係機関 350部×3	72
	②広報活動等 養育家庭制度に関するPR養育家庭制度及び会の活動紹介、広く里親制度を広報するため、ホームページ、リーフレット、ポスター作成	随時	都内	5名	都内全域	27
	③勉強会 里親に対する研修・里親及び里親関係者、一般に対する勉強会の開催	5月22日	都内	3名	養育家庭 45名	20
(E) その他事業	① その他					

(F) 養育家庭に対する教育事業 (受託事業)	里親養育力向上計画総合プログラム事業					特別会計
	①里親研修事業	随時 (別紙参照)	都内	11名	東京都の 里親家庭	
	②『Tokyo 里親 net』を、当会 と東京都が共同で発行し、登 録里親、会員、関係者に配布	毎月1回 発行	連携室	6名	東京都の 里親家庭	
	③ホームページの管理	随時	連携室	2名		
	④普及啓発活動 都や区市町村と協力し、養 育家庭制度の普及啓発のた めの体験発表等	随時	児童相談所 都内全域	15名		
	養育家庭支援事業					
	① 支援員連絡会・勉強会	年8回	児相センター	2名	養育家庭支援 員22名	
	② 養育家庭への支援 各児童相談所に支援員を 配置し、地域の児童相談所 と連携して養育家庭に対 する支援活動。	随時	各児童相談所 他	22名	養育家庭とし そこで暮ら育 つ子供	